

15. 「釧路まちなかコンシェルジュくるる」

(釧路市・くしろ北大通商店街振興組合)

～ 地元産品にこだわったメニューを提供するコミュニティカフェ ～

■ コミュニティカフェの開設

釧路市の中心部に位置する「北大通」の周辺は元々金融機関が多く立地し、最近ではビジネスホテルの建設も進んでいるが、商店は少ないエリアである。道内他地域と同様、商店数が年々減少しており、若手経営者を中心に商店街の活性化について検討したところ、買い物客や観光客が気軽に集え、観光案内や商店街の情報を発信する機能を有する場所が必要との結論に至り、空き店舗を活用した「釧路まちなかコンシェルジュくるる」を開設することとなった。

■ 地域のニーズに対応し成長

「くるる」の開設に当たっては、国の「地域商店街活性化法」に基づく「商店街活性化事業計画」を策定し、認定を受けたことから、当初は国の補助制度を活用して運営していた。

当初、「まちなか案内」と「レンタサイクル」という事業から取り組んでいたこともあり、観光客の利用が中心であったが、事業を進めていく中で、前述のとおり、周辺に金融機関が多く、自ずとランチへのニーズは高いものの、提供する店舗が少ないことが判明したことから、このニーズへの対応及び収益の獲得を目的として、当初の事業から、食事の提供へと事業を見直すこととなった。



メニューについては、折角提供するのであれば「おいしい」物を、さらに、食材は釧路市近郊若しくは道産の物にしようということになり、「くしろ定食」など、地元産品にこだわったメニューを提供している。また、長きに渡って営業していた近隣の珈琲店が閉店することとなったが、そのままではもったいないということで、機材はもとより、その技術も承継したことで、閉店を残念がっていた常連客も「くるる」に来店するようになっている。



■ 今後の課題

当初想定していたよりランチへのニーズが高かったことから、席数を増やすなどして対応しているものの、飲食の提供に職員が忙殺されており、現在はレンタサイクル事業を休止し、カフェ事業が中心となっている。

組合としては、カフェ以外の事業も積極的に展開していきたいという思いはあるものの、現在の体制ではカフェへの対応で手一杯であるとともに、平成27年度からは、自主事業へ移行したこともあり、資金的にも余裕が無いため、カフェとして採算ベースに乗せ、集える場所としての更なる機能の拡大が今後の課題。

照会先 ■まちなかコンシェルジュ くるる
(運営主体等) 釧路市北大通9丁目1
TEL 0154-65-9614